

# 淀川水系流域委員会

## 平成25年度進捗点検結果説明資料 【治水(猪名川)】

平成27年4月22日

近畿地方整備局

# 平成26年度 第3回淀川水系流域委員会 説明資料【治水(猪名川)】

点検項目	観 点	指 標	平成25年度 進捗	本文頁	
1	危機管理体制の構築	災害体験者からの災害状況の聞き取り及びその情報発信内容	無し	P.183	
2		自治体、水防団、マスメディア等との情報共有化のための情報伝達体制の基盤整備内容・情報共有団体数	有り (人川と重複)	P.184	
3		ハザードマップ作成内容・作成済み市町村数	完了	P.188	
4		まるとまちごとハザードマップ、浸水実績及び想定表示看板設置内容・設置数	有り (人川と重複)	P.189	
5		災害時要援護者に配慮した避難勧告・指示の発令基準の明確化及び周知体制整備の内容	有り	P.192	
6		地下空間の利用者及び管理者への情報伝達体制整備内容	無し	P.194	
7		水防団の高齢化に対する支援の内容・講演、出前講座実施回数	無し	P.195	
8		水防拠点整備の内容・箇所数	無し	P.197	
9		公共施設の耐水化の内容	無し	P.198	
10		災害対応プログラムの作成内容	無し	P.199	
11		水害に強い地域づくり協議会実施内容・開催回数	有り (人川と重複)	P.201	
12		河川に集中させてきた洪水エネルギーの抑制/分散対策の実施状況	流域における保水・貯留機能確保の内容・貯留量	有り	P.203
13			洪水氾濫時被害軽減のための土地利用規制・誘導施策の内容	有り	P.205
14			河川整備計画と都市計画との調整の内容	無し	P.206
15	堤防強化の実施	HWL以下、浸透、浸食対策実施内容・延長	無し	P.209	
16		堤防天端以下、浸食対策実施内容・延長	該当無し	P.211	
17		堤防天端舗装実施内容・延長	無し	P.212	
18		側帯整備実施内容・延長	無し	P.213	
19	川の中で洪水を安全に流下させるための対策	上下流バランスの状況	実績降雨、計画規模降雨における上下流水位の変化内容	有り	P.217
20		河道流下能力の増大、洪水調節の効果的な実施による洪水位の低減状況	実績降雨、計画規模降雨における越水及びHWL超過内容・超過延長	有り	P.221
21			新設ダムの効果内容・洪水位低下量	該当無し	P.224
22	高規格堤防の整備	ハードによる超過洪水対策の実施状況	高規格堤防の整備内容・延長	該当無し (人川と重複)	P.227
23	土砂対策	土砂移動抑制策(砂防堰堤、山腹工)の実施内容・箇所数	該当無し	P.231	
24		土砂移動の制御の実施状況	土砂を下流へ流すことができる砂防えん堤の設置内容・設置数(砂防施設)	該当無し (河川環境と重複)	P.234
25		流域の土砂生産・移動・堆積の実態把握状況	河床変動等の土砂動態モニタリング、総合土砂管理方策の検討内容(既設ダム)	有り (河川環境と重複)	P.235
26	既設ダム等の運用	河道流下能力の増大、洪水調節の効果的な実施による洪水位の低減状況	既設ダムの効果内容・洪水位低下量	有り	P.238

# 平成26年度 第3回淀川水系流域委員会 説明資料【治水(猪名川)】

	点検項目	観 点	指 標	平成25年度 進捗	本文頁
27	高潮対策	高潮被害軽減策の実施状況	橋梁の嵩上げ内容・箇所数	該当無し	P.242
28			陸閘操作の改善内容・箇所数	該当無し (重複)	P.243
29	地震・津波対策	地震対策事業の実施状況	河川管理施設の耐震対策実施内容・箇所数	有り	P.246
30			緊急用河川敷道路の整備内容・延長	該当無し	P.248
31		津波対策事業の実施状況	津波ハザードマップ作成支援内容・作成市町村数	有り	P.250
32			津波情報提供設備の設置内容・設置数	完了	P.251
33			陸閘操作の改善内容・箇所数	該当無し (重複)	P.252

危機管理体制の構築

【観点】破堤氾濫に備えた被害の軽減対策、避難体制の整備状況

「指標」自治体、水防団、マスメディア等との情報共有化のための情報伝達体制の基盤整備内容・情報共有団体数(人川と指標が重複)

【情報伝達体制状況】

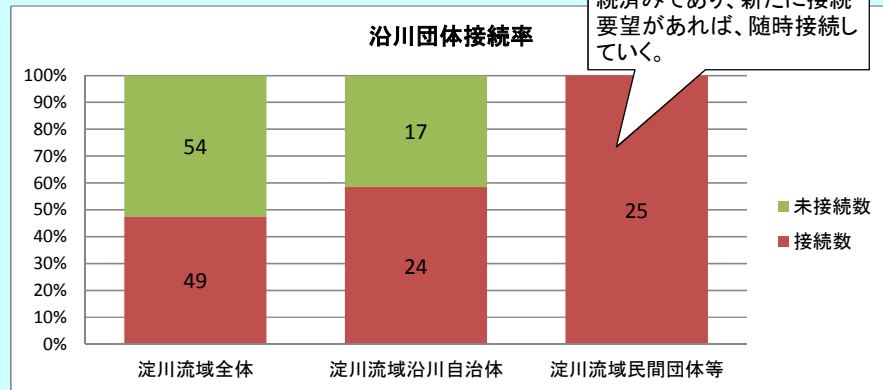
【水系全体】

淀川・琵琶湖・猪名川・木津川上流の4事務所では光ファイバ等による情報提供を49団体と行っている。また、主要な雨量・水位情報やライブ映像はインターネットによる提供も行っている。

有事の際、各自治体等への確実な情報伝達体制確立のため、光ファイバ等の接続による直接の情報伝達について、水害に強い地域づくり協議会等で呼びかけている。



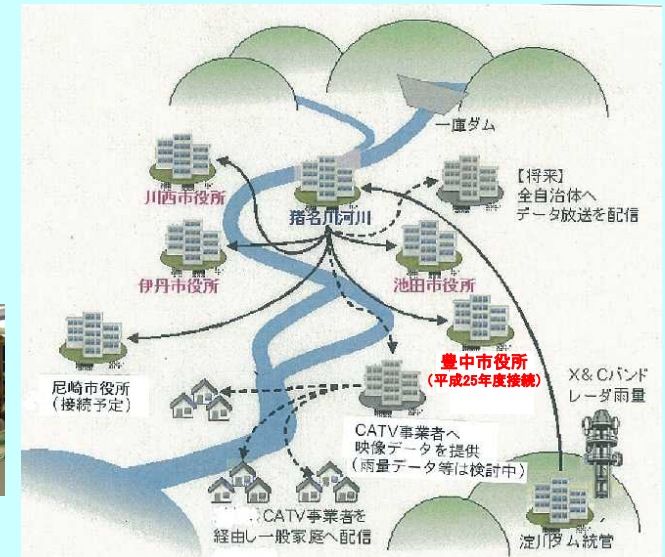
NHK情報提供画面(各河川水位データ表示)



【猪名川河川事務所】

関係機関へ光ファイバ等を接続することにより、河川情報や画像情報を確実に提供できるようにしており、猪名川河川事務所では、自治体(池田市・川西市・伊丹市・豊中市)、豊中・池田ケーブルテレビ及びベイ・コミュニケーションズと情報共有に関する協定を結んでいる。今後、尼崎市と情報共有に関する協定を計画している。

活用状況(川西市)



危機管理体制の構築

【観点】破堤氾濫に備えた被害の軽減対策、避難体制の整備状況

「指標」自治体、水防団、マスメディア等との情報共有化のための情報伝達体制の基盤整備内容・情報共有団体数(人川と指標が重複)

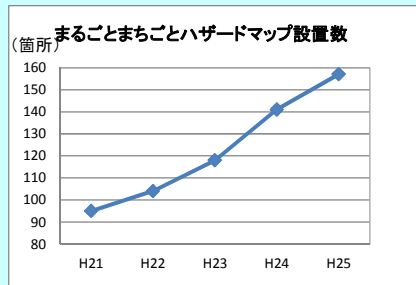
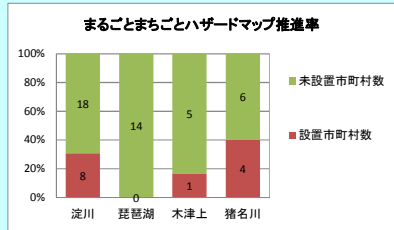
進捗状況	点検結果																
<p>(平成25年度の実施)</p> <p>平成25年度は、新規に1団体へ情報提供を始めた。 平成25年度までの累計では、49団体と増加している。</p> <div data-bbox="286 501 763 866" data-label="Figure"> <table border="1"> <caption>情報提供団体数(累計)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>団体数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>~H19</td> <td>34</td> </tr> <tr> <td>H20</td> <td>43</td> </tr> <tr> <td>H21</td> <td>44</td> </tr> <tr> <td>H22</td> <td>45</td> </tr> <tr> <td>H23</td> <td>47</td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>48</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>49</td> </tr> </tbody> </table> </div> <p>また、平常時から危機管理能力の向上を図るため、堤防の決壊を想定したシミュレーション訓練、総合防災演習及び陸閘の操作訓練を自治体や水防団と連携して実施した。 自治体や水防団と水防連絡会を開催し、沿川の危険箇所や災害時の連絡体制等について情報交換を行った。</p> <p>点検項目「洪水・災害時の人と川とのつながりの構築」の[指標]自治体、水防団、マスメディア等との情報共有化のための情報伝達体制の基盤整備内容・情報共有団体数と重複掲載</p>	年度	団体数	~H19	34	H20	43	H21	44	H22	45	H23	47	H24	48	H25	49	<p>関係機関へ光ファイバー等を接続することにより、河川情報や画像情報を確実に提供でき、情報提供している団体数も増加している。 また、訓練や連絡会を通じて、関係機関との連携が図られている。</p> <p>今後も関係自治体等と連携してさらに避難体制の基盤整備の支援や情報共有の促進及び関係機関との連携に取り組んでいく。</p>
年度	団体数																
~H19	34																
H20	43																
H21	44																
H22	45																
H23	47																
H24	48																
H25	49																

危機管理体制の構築

【観点】破堤氾濫に備えた被害の軽減対策、避難体制の整備状況

「指標」まるごとまちごとハザードマップ、浸水実績及び想定表示看板設置内容・設置数(人川と指標が重複)

【まるごとまちごとハザードマップ整備状況】



【猪名川河川事務所】

まるごとまちごとハザードマップ設置位置図・設置数



	全数	平成25年度
尼崎市	9	0
伊丹市	6	1
川西市	27	8
宝塚市	0	0
猪名川町	0	0
豊中市	0	0
箕面市	0	0
池田市	5	1
豊能町	0	0
能勢町	0	0
計	47	10

川西市での設置事例



進捗状況

(平成25年度の取組)

平成25年度は、城陽市で5箇所、伊賀市で1箇所、伊丹市で1箇所、池田市で1箇所、川西市で8箇所のまるごとまちごとハザードマップを設置した。平成25年度末時点の整備済箇所は以下のとおりである。

浸水想定区域表示看板(26箇所)  
(大阪市、京都市、草津市(試行)等)

まるごとまちごとハザードマップ(157箇所)  
(八幡市(4)、宇治市(70)、大山崎町(4)、長岡京市(6)、向日市(9)、久御山町(9)、摂津市(2)、城陽市(5)、伊賀市(1)、尼崎市(9)、伊丹市(6)、池田市(5)、川西市(27))

点検項目「危機管理体制の構築」の[指標]まるごとまちごとハザードマップ、浸水実績及び想定表示看板設置内容・設置数と重複掲載

点検結果

万一の堤防決壊に備え、避難誘導と危機意識の醸成に資するため、まるごとまちごとハザードマップ及び浸水実績表示看板等の設置が進んでいる。

今後も関係自治体と連携してさらにまるごとまちごとハザードマップ及び浸水実績表示看板等の設置を進めていく必要がある。

危機管理体制の構築

【観点】破堤氾濫に備えた被害の軽減対策、避難体制の整備状況

「指標」災害時要援護者に配慮した避難勧告・指示の発令基準の明確化及び周知体制整備の内容

【避難勧告等の判断・伝達マニュアルの作成状況】

【猪名川河川事務所】



猪名川流域総合治水対策協議会の説明風景

猪名川流域総合治水対策協議会において、避難勧告等の情報伝達や避難体制構築に向けて猪名川沿川自治体を対象に避難勧告等の判断・伝達マニュアルの作成、及び避難体制構築の必要な支援を行っている。

各自治体において、出前講座等により防災意識の啓発や、防災教育の実施など、地域防災に活用された。

進捗状況	点検結果
<p>(平成25年度の取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・淀川河川事務所においては、平成25年度は、自治体がマイ防災マップを作成する際の手順等を整理したマイ防災マップの作成手順書 水害編(案) 自治体職員向けを作成するとともに、水害に強い地域づくりに資する取組事例等を整理した住民の適切な避難に向けた「取組のポイント集」(案)、自治体が効果的に水位予測情報を活用できるよう「水位予測情報の活用の手引き」(案)の作成を行った。(平成25年度 水害に強い地域づくり協議会)</li> <li>・猪名川河川事務所においては、猪名川流域総合治水対策協議会(情報伝達や避難体制の構築に係る専門部会)の活動として、沿川自治体に避難勧告等の判断・伝達マニュアルの作成について説明を行っている。</li> </ul>	<p>水害に強い地域づくり協議会において、マニュアル作成に向けた検討を進めている。</p> <p>今後も関係自治体等と連携して、検討を進めていく。</p>

危機管理体制の構築

【観点】破堤氾濫に備えた被害の軽減対策、避難体制の整備状況

「指標」水防拠点整備の内容・箇所数

【猪名川河川事務所】猪名川河川防災ステーション

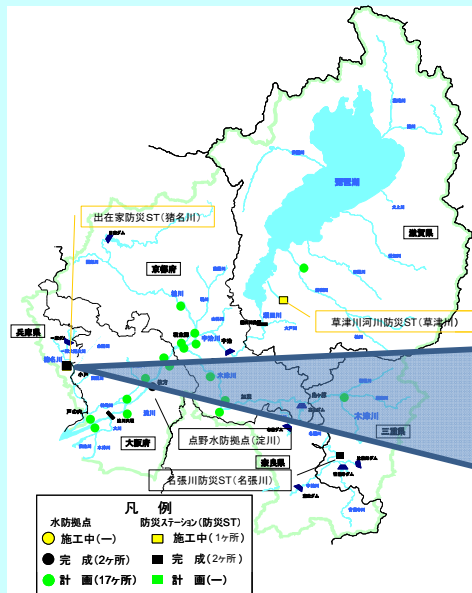
兵庫県出在家地区(川西市)については、洪水時における周辺地域の水防活動を支援するための水防拠点として利用し、平常時には、地域住民の憩いやコミュニケーションの場として有効活用できる場として整備

○ 水防拠点整備

- ・ 水害対策用資材の保管場所として、水防倉庫の設置
- ・ 土嚢作成運搬に必要な作業ヤードの確保
- ・ 水防用鋼材の備蓄

○ 平常時の利用

- ・ 平常時は地域住民の憩いやコミュニケーションの場として利用



猪名川河川防災ステーション

出在家防災ST整備

種別	面積	備蓄
水防センター	約1,50㎡	避難待合室、待機室、防災資材保管庫
備蓄ヤード	約1,300㎡	水防用鋼材、土嚢、プロック等の備蓄場所
ヘリポート	約4,60㎡	緊急輸送用ヘリコプター着陸滑走路
車道交差点前	約690㎡	緊急輸送用車両、消防分隊等の集結(駐車、待機、交差待ち)
駐車場	約380㎡	必要時緊急待機場
作業ヤード	約3,20㎡	土嚢の作成など水防活動の作業ヤード
避難待機	約1,610㎡	水防用の備蓄場所(土嚢置き場)
その他	約4,900㎡	(全整備)

進捗状況	点検結果
<p>(平成25年度の取組)</p> <p>平成25年度に新たに整備した箇所は無い。</p>	<p>水防上の拠点については、河川防災ステーション全3箇所のうち、完成が2箇所、整備中が1箇所、また水防拠点全19箇所のうち、完成が2箇所となっている。</p> <p>今後もさらなる整備に向けて地元調整等を図る。</p>



## 危機管理体制の構築

【観点】破堤氾濫に備えた被害の軽減対策、避難体制の整備状況

「指標」公共施設の耐水化の内容

猪名川では進捗なし。

進捗状況	点検結果
(平成25年度の実施) 平成25年度は整備箇所なし。	公共施設の耐水化については、地域としての取り組みが行われているが、さらなる取り組みの拡大が望まれるところである。

危機管理体制の構築

【観点】破堤氾濫に備えた被害の軽減対策、避難体制の整備状況

「指標」災害対応プログラムの作成内容

猪名川では進捗なし。

進捗状況	点検結果
<p>(平成25年度の取組)</p> <p>・淀川河川事務所においては、平成25年度も引き続きマイ防災マップの作成をケーススタディー地区3箇所(長岡京市及び京田辺市)で行い、自治体がマイ防災マップを作成する際の手順等を整理したマイ防災マップの作成手順書 水害編(案) 自治体職員向けを作成した。</p>	<p>各事務所管内において、水害に強い地域づくり協議会の設立が進んでおり、淀川河川事務所では、各自治体職員の研修会を実施するなど関係機関との連携が進められている。</p> <p>今後も、定期的に各協議会を開催することにより、関係自治体との連携を強化していく。</p> <p>なお、協議会が未設置の地域では、早期設置を図る。</p>

危機管理体制の構築

【観点】破堤氾濫に備えた被害の軽減対策、避難体制の整備状況

「指標」水害に強い地域づくり協議会実施内容・開催回数(人川と指標が重複)

【協議会の設置状況】

【猪名川河川事務所】

・猪名川流域総合治水対策協議会

平成25年11月6日に猪名川流域総合治水対策協議会・幹事会を開催し、平成26年度の事業計画について承認された。これに基づき、平成26年度はまるごとまちごとハザードマップの設置箇所の選定を行っている。

猪名川流域総合治水対策協議会

<http://www.kkr.mlit.go.jp/inagawa/busi/information/flood-about.html>



進捗状況	点検結果
<p>(平成25年度の取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・淀川河川事務所管内においては、平成25年度は、首長会議2回、ワーキンググループ6回、地域住民・自治体職員の防災意識向上を目的とした講演会・研修会を5回実施し、水害に対する備えについて情報提供をおこなった。</li> <li>・琵琶湖河川事務所管内においては、平成25年度は、高島地域水害・土砂災害に強い地域づくり協議会を1回開催した。</li> <li>・猪名川河川事務所管内においては、平成25年度は、流域の都市化に伴い治水の安全度が低下している猪名川流域において、土地の適正な利用計画等、総合的な治水対策のための諸施策を協議のうえ策定し、かつその施策を推進することにより水害を防止し、また軽減を図ることを目的とした、猪名川流域総合治水対策協議会・幹事会を1回開催した。</li> <li>・木津川上流河川事務所管内においては、平成25年度は木津川流域での協議会発足に向けて調整を行っており、三重県、伊賀市、木津川上流河川事務所の3者で準備に向けた打合せを平成26年2月21日に実施した。</li> </ul> <p>点検項目「危機管理体制の構築」の[指標]水害に強い地域づくり協議会実施内容・開催回数と重複掲載</p>	<p>各事務所管内において、水害に強い地域づくり協議会の設立が進んでおり関係機関との連携が進められている。</p> <p>今後も、定期的に各協議会を開催することにより、関係自治体との連携を強化していく。</p> <p>なお、協議会が未設置の地域では、早期設置を図る。</p>

危機管理体制の構築

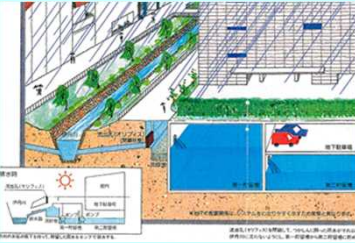
【観点】河川に集中させてきた洪水エネルギーの抑制/分散対策の実施状況

「指標」流域における保水・貯留機能確保の内容・貯留量

【総合治水対策の事例】

【猪名川河川事務所】

総合治水対策では、河川改修を進めると共に、雨が降った流域で、雨水を一時的にためる施設をつくるなどして洪水を防ぐこととし、建物のピロティ化や都市部の調整池等を行っており、猪名川河川事務所の地下には雨水貯留槽を設け、河川への流出を抑制する対策を行っている。



太陽猪名川自動車学校のピロティ構造



東ときわ台No.1調整池

兵庫県において、平成25年度は地域総合治水推進計画策定に向けた準備会議を1回開催され、策定に向けたスケジュール及び協議会設置要綱等について議論された。

進捗状況

(平成25年度の取組)

平成25年度は整備箇所無し。  
平成25年度末時点の猪名川流域総合治水対策における流域整備計画の進捗状況は59.9%。  
流域の市街化は、昭和55年時点14.2%(小戸上流域)、想定25.0%に対して、平成25年度末時点で17.2%。  
兵庫県において、平成25年度は地域総合治水推進計画策定に向けた準備会議を1回開催した。

市町名	H26.3末現在		
	流域整備計画 における 対策容量 (m <sup>3</sup> )	合計	
		実施状況 S56.1~H26.3 対策容量	進捗率
池田市	15,000	27,650	184.3%
箕面市	264,000	0	0.0%
豊能町	64,100	39,158	61.1%
大阪府計	343,100	66,808	19.5%
川西市	270,700	355,961	131.5%
猪名川町	415,300	177,370	42.7%
宝塚市		16,433	
兵庫県計	686,000	549,764	80.1%
合計	1,029,100	616,572	59.9%

点検結果

今後も引き続き関係機関と調整を図り、進捗に努める。

また、猪名川流域においては、今後の整備目標について猪名川流域総合治水対策協議会※において議論が進められるなど関係機関との連携が進められている。

※大阪府(豊中市、池田市、箕面市)、兵庫県(尼崎市、伊丹市、宝塚市、川西市、猪名川町)等で構成される協議会

## 危機管理体制の構築

【観点】河川に集中させてきた洪水エネルギーの抑制/分散対策の実施状況

「指標」洪水氾濫時被害軽減のための土地利用規制・誘導施策の内容

進捗状況	点検結果
<p>(平成25年度の取組)</p> <p>滋賀県において、平成26年3月に流域治水の推進に関する条例および施行規則が施行された。</p> <p>兵庫県において、平成25年度は地域総合治水推進計画策定に向けた準備会議を1回開催した。</p>	<p>今後も引き続き、琵琶湖水位上昇に伴う琵琶湖周辺における浸水被害を軽減するため、土地利用規制・誘導施策の具体化に向けた検討を行い、滋賀県・関係市等と協議を進め、進捗に努める。</p> <p>猪名川においては、猪名川流域総合治水対策協議会を通じて関係機関と調整を図り、進捗に努める。</p>

危機管理体制の構築

【観点】河川に集中させてきた洪水エネルギーの抑制/分散対策の実施状況

「指標」河川整備計画と都市計画との調整の内容

猪名川では進捗なし。

進捗状況	点検結果
(平成25年度の取組) 平成25年度は、調整が必要な都市計画の変更手続きはなかった。	

堤防強化の実施

【観点】堤防の強化対策の実施状況

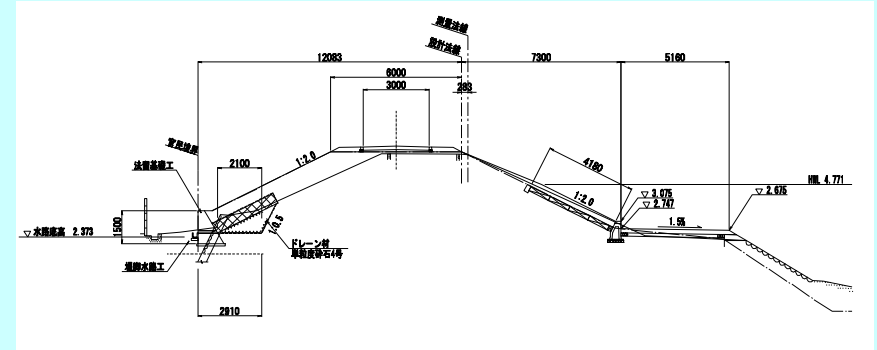
「指標」HWL以下、浸透、侵食対策実施内容・延長

【猪名川河川事務所】浸透対策工事事例

猪名川河川事務所では平成19年度に兵庫県尼崎市法界寺地先において、浸透対策として堤防補強工事を実施した。



施工状況

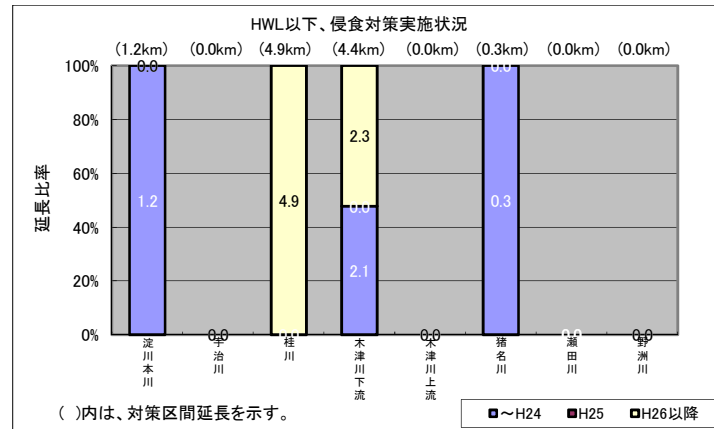
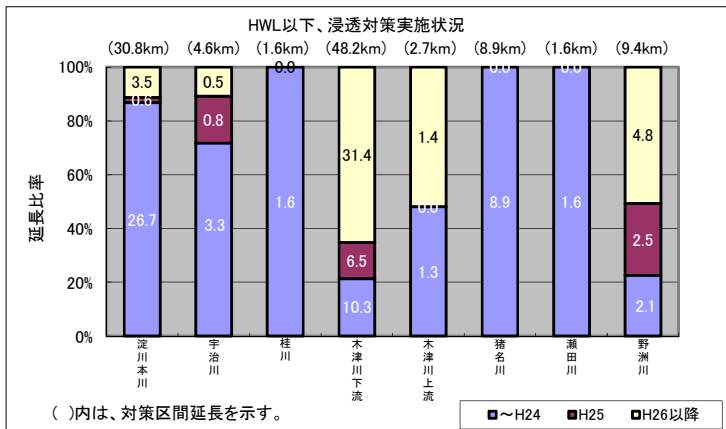


標準横断面図

進捗状況

(平成25年度の取組)

平成25年度は10.4kmの整備を実施した。  
平成25年度までに67.5kmについて整備を実施している。



点検結果

HWL以下の浸透、侵食対策については、着実に実施している。

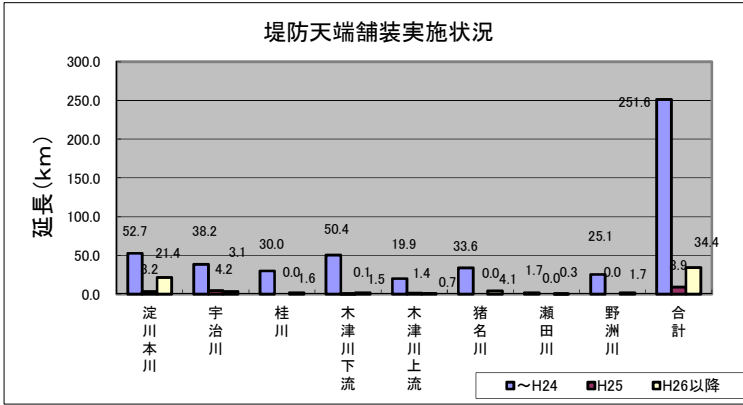
整備計画では緊急整備区間については10年以内で実施し、それ以外の区間は計画的に実施することとしているが、平成24年9月に公表した堤防の緊急点検結果を踏まえ、整備計画の緊急整備区間外も早期に完成できるように進捗を図り、堤防強化を推進していく。

堤防強化の実施

【観点】堤防の強化対策の実施状況

「指標」堤防天端舗装実施内容・延長

猪名川では進捗なし。

進捗状況	点検結果
<p>(平成25年度の取組) 平成25年度は8.9kmの整備を実施した。 平成25年度までに260.5kmについて整備を実施している。</p> 	<p>堤防天端舗装の実施について、各区間毎の安全性や緊急性をふまえて着実に進捗している。</p> <p>今後も、地元と調整を図りながら計画に沿った整備を進める。</p>



堤防強化の実施

【観点】堤防の強化対策の実施状況

「指標」側帯整備実施内容・延長

猪名川では進捗なし。

進捗状況	点検結果
<p>(平成25年度の取組) 平成25年度は整備を実施していない。</p>	<p>側帯整備の実施について、平成25年度は整備実績が無かったが、今後も、地元と調整を図りながら整備を進める。</p>

川の中で洪水を安全に流下させるための対策

【観点】上下流バランスの状況

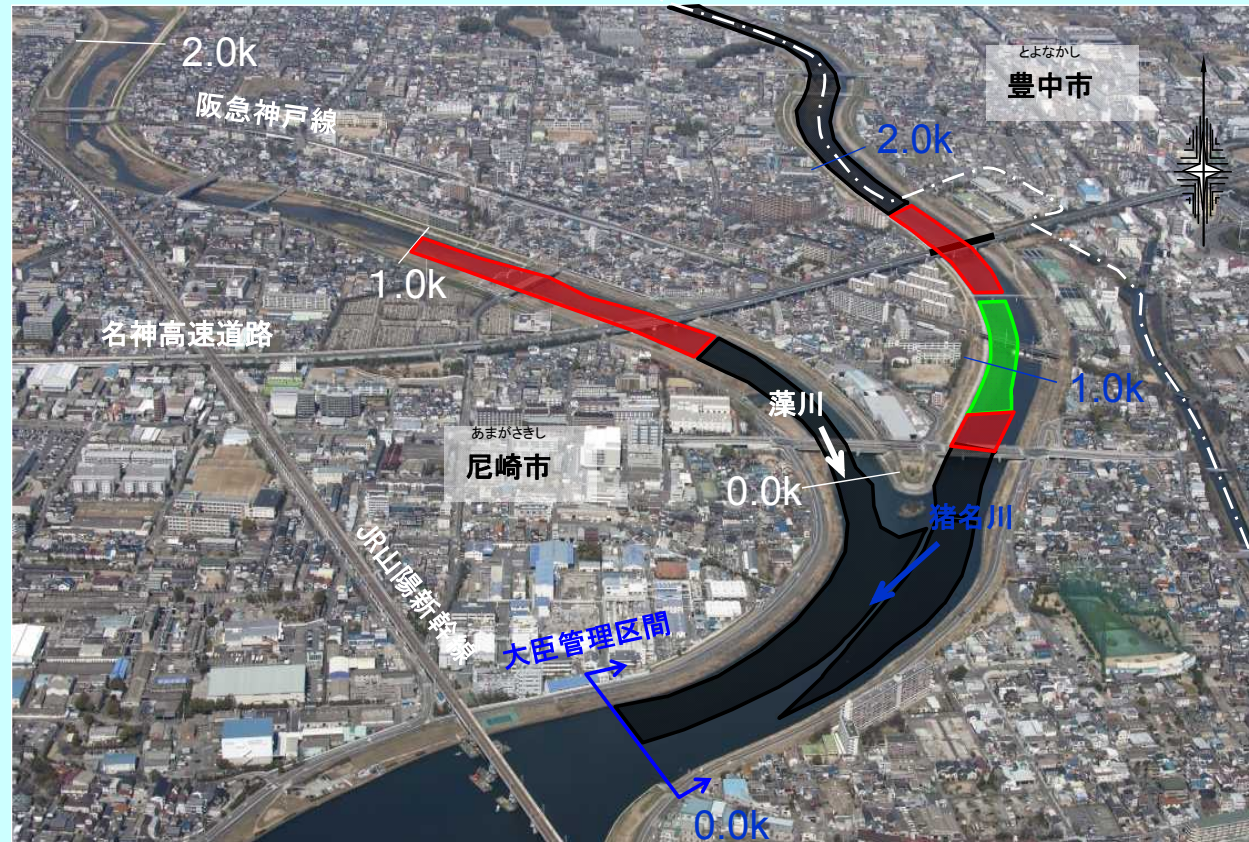
「指標」実績降雨、計画規模降雨における上下流水位の変化内容

【河床掘削事例 猪名川・藻川】

【猪名川河川事務所】

猪名川では、淀川水系河川整備計画に基づき、戦後最大洪水である昭和35年台風16号洪水を安全に流下させることを目標として、平成22年度から河川整備を継続して実施している。(整備計画目標流量:2100m<sup>3</sup>/s[小戸地点])

平成25年度は引続き過年度までの上下流の府県管理区間も含めた改修状況を踏まえつつ河道の掘削を実施した。



凡 例	
H24まで実施	黒色
H25実施	赤色
H26以降実施	緑色

## 川の中で洪水を安全に流下させるための対策

## 【観点】上下流バランスの状況

## 「指標」実績降雨、計画規模降雨における上下流水位の変化内容

進捗状況	点検結果
<p>(平成25年度の取組)</p> <p>平成25年度は、上下流バランスを確認しながら、治水安全度の低い箇所において、以下の整備を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・桂川では平成25年9月に発生した台風18号により、浸水被害が発生したことから、緊急対策区間として設定し、現在実施中の河道掘削を大幅に前倒して実施することとし、河積拡大に向けて掘削等を実施。</li> <li>・宇治川においては、引き続き、河積拡大に向けて塔の島地区の河川改修を実施。</li> <li>・瀬田川については、引き続き、河道掘削を実施。</li> <li>・木津川上野遊水地については、本川堤締切に向けて新居橋の架替工事を実施。</li> <li>・柘植川については、無堤部の築堤を実施。</li> <li>・猪名川については、引き続き、河道掘削を実施。</li> </ul>	<p>上下流バランスを考慮し、安全度の低い中上流部の治水対策を段階的に進めている。</p> <p>今後も上下流バランスを確認しながら河積拡大等の整備を実施する。</p>

川の中で洪水を安全に流下させるための対策

【観点】河道流下能力の増大、洪水調節の効果的な実施による洪水位の低減状況

「指標」実績降雨、計画規模降雨における越水及びHWL超過内容・超過延長

【平成25年9月台風18号出水】

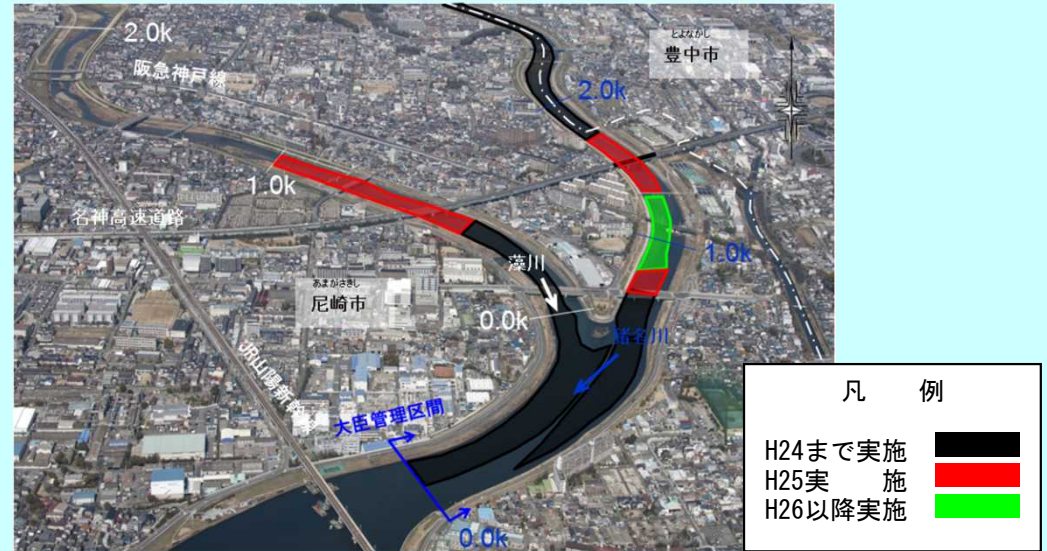
台風18号の豪雨により、淀川水系において、桂川、宇治川が計画高水位、木津川がはん濫危険水位、名張川が避難判断水位を超過した。



【猪名川河川事務所】

猪名川では、[淀川水系河川整備計画(H21.3.31策定)]に基づき、戦後最大洪水である昭和35年台風16号洪水を安全に流下させることを目標として、平成22年度から河川整備を継続して実施している。

平成25年台風18号により、猪名川においてははん濫注意水位は越えたものの、越水やHWLは超過しなかった。



進捗状況

(平成25年度の取組)

平成25年度も上記に引き続き整備を行った。

- ・桂川では平成25年9月に発生した台風18号により、浸水被害が発生したことから、緊急対策特定区間として設定し、現在実施中の河道掘削を大幅に前倒して実施することとし、河積拡大に向けて掘削等を実施。
- ・宇治川においては、引き続き、河積拡大に向けて塔の島地区の河川改修を実施。
- ・瀬田川については、引き続き、河道掘削を実施。
- ・木津川上野遊水地については、本川堤締切に向けて新居橋の架替工事を実施。
- ・柘植川については、無堤部の築堤を実施。
- ・猪名川については、引き続き、河道掘削を実施。

点検結果

洪水位の低減のための整備を着実に進めている。

今後も上下流の水位変化を確認しながら河積拡大等の整備を実施する。

土砂対策

【観点】流域の土砂生産・移動・堆積の実態把握状況

「指標」河床変動等の土砂動態のモニタリング、総合土砂管理方策の検討内容(既設ダム)(河川環境と指標が重複)

進捗状況	点検結果
<p>(平成25年度の取組)</p> <p>平成25年度は、土砂動態の実態把握のためのモニタリングを継続した。</p> <p>一庫ダムの堆砂については、計画堆砂量250万m<sup>3</sup>のうち、平成25年度末で堆砂率が約36%となっている。</p> <p>日吉ダムの堆砂については、計画堆砂量800万m<sup>3</sup>のうち、平成25年度末で堆砂率が約20%となっている。</p> <p>堆砂については、今後も監視を行い、ダム機能の維持の排砂の検討を行っていく。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="85 683 743 1082"> <p>一庫ダム</p> </div> <div data-bbox="779 683 1415 1152"> <p>日吉ダム</p> </div> </div> <p>点検項目「流域の視点に立った水循環・物質循環系の構築」の[指標] 河床変動等の土砂動態のモニタリング、総合土砂管理方策の検討内容(既設ダム)と重複掲載</p>	<p>淀川水系総合土砂管理検討委員会の指導・助言を得ながら、水系内の実態把握に努めている。</p> <p>今後も、引き続きモニタリングを行い、淀川水系総合土砂管理検討委員会の指導・助言を得ながら、総合土砂管理方策の検討を進める。</p>

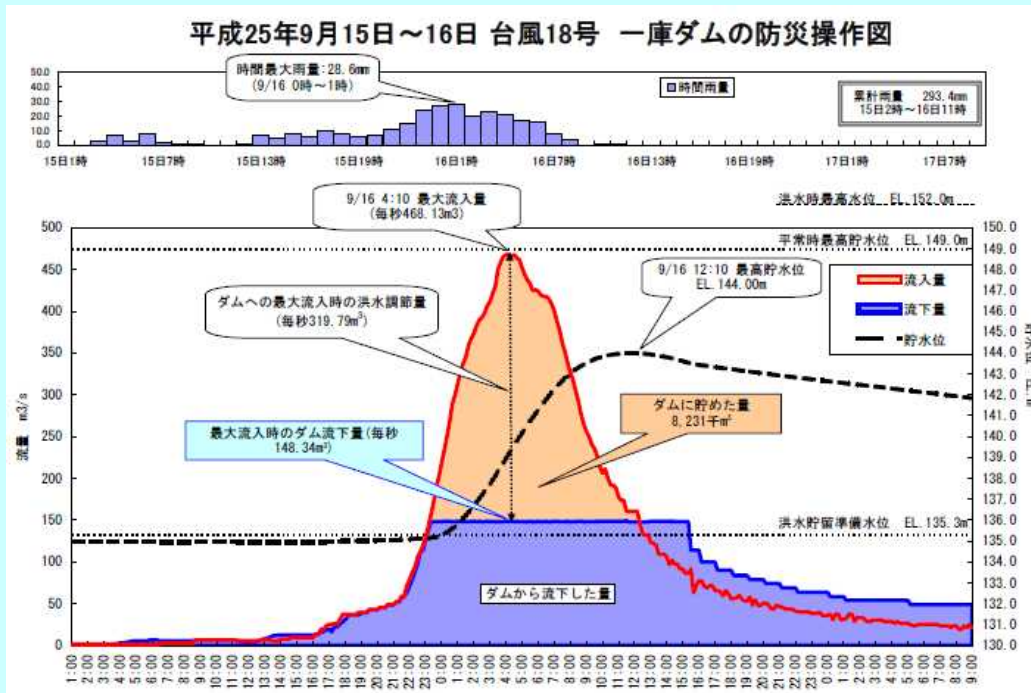
既設ダム等の運用の検討

【観点】河道流下能力の増大、洪水調節の効果的な実施による洪水位の低減状況

「指標」既設ダムの効果内容・洪水位低下量

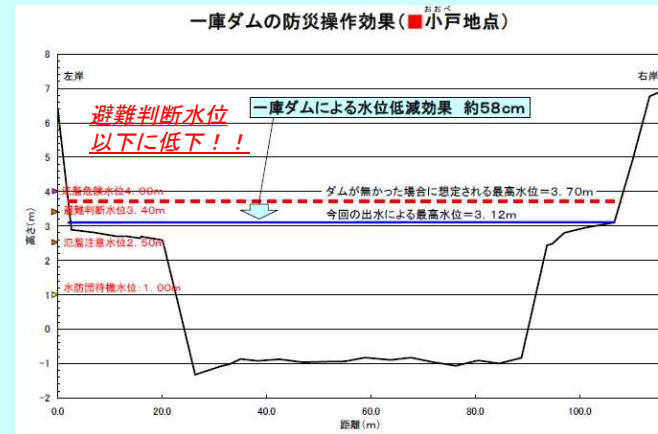
【一庫ダムの効果事例(台風18号)】

一庫ダム(水資源機構)では昭和58年4月の管理開始以来、最大の防災操作を実施し、小戸地点で約58cmの水位低減効果があった。



【ダムの操作状況】

年 月 日	洪水原因	ダム名	最大流入量 (m³/s)	最大流入時放流量(m³/s)
平成25年 9月16日	台風18号	天ヶ瀬ダム	1,360	860
平成25年 9月16日	台風18号	日吉ダム	1,690	150
平成25年 9月16日	台風18号	高山ダム	1,600	470
平成25年 9月16日	台風18号	布目ダム	200	50
平成25年 9月16日	台風18号	比奈知ダム	370	200
平成25年 9月16日	台風18号	青蓮寺ダム	500	300
平成25年 9月16日	台風18号	室生ダム	330	80
平成25年 9月16日	台風18号	一庫ダム	470	150
平成25年 10月25日	台風27号	日吉ダム	260	150



進捗状況

(平成25年度の取組)

平成25年度は、淀川水系のダム群において、合計9回の洪水調節を行った。

点検結果

平成25年は洪水調節だけでなく、さらに放流量を絞り込む操作により、下流河川および支川の水位低減に大きく寄与した。

今後、引き続き既設ダムの容量を最大限に活用するよう、弾力的な運用に努める。

地震・津波対策

【観点】地震対策事業の実施状況

「指標」河川管理施設の耐震対策実施内容・箇所数

【河川管理施設の耐震化事例】

【猪名川河川事務所】

猪名川左岸0.6k付近の河川堤防は、耐震照査結果に基づき耐震化工事を行い、平成25年度末に耐震化工事を完了した。



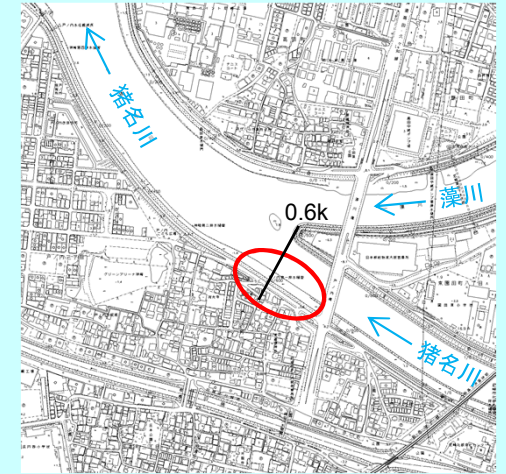
【対策前】



【対策中】



【対策後】



進捗状況

(平成25年度の取組)

平成25年度には要対策箇所であった堤防0.1kmの耐震対策を実施した。平成25年度末時点の河川管理施設の耐震対策の実施状況は以下のとおりである。

- ・堰: 要点検箇所2箇所のうち、点検済み箇所2箇所  
 点検済み箇所のうち、要対策箇所2箇所  
 要対策箇所2箇所のうち、対策完了2箇所※
- ※平成23年度の耐震設計見直しに伴い、継続して対策を実施中
- ・水門・樋門  
 : 要耐震点検8箇所のうち、点検済み箇所5箇所  
 点検済み箇所5箇所のうち、要対策箇所5箇所  
 要対策箇所5箇所のうち、対策完了2箇所
- ・堤防  
 : 要耐震点検20.4kmのうち、点検済み箇所20.4km  
 点検済み箇所20.4mのうち、要対策箇所0.3km  
 要対策箇所0.3kmのうち、対策完了0.1km

点検結果

耐震対策については、レベル1対応については実施済みであり、レベル2対応についても堰等の重要構造物を優先し必要な対策を着実に進めている。淀川大堰、瀬田川洗堰については、耐震設計の見直しに伴い、新しい基準に沿った耐震補強を継続して検討していく。

今後、残る水門・樋門のレベル2対応の点検を早急に完了させ、対策必要箇所を把握し、必要な対策を順次進めていく。

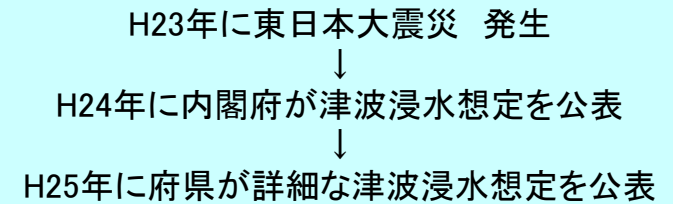
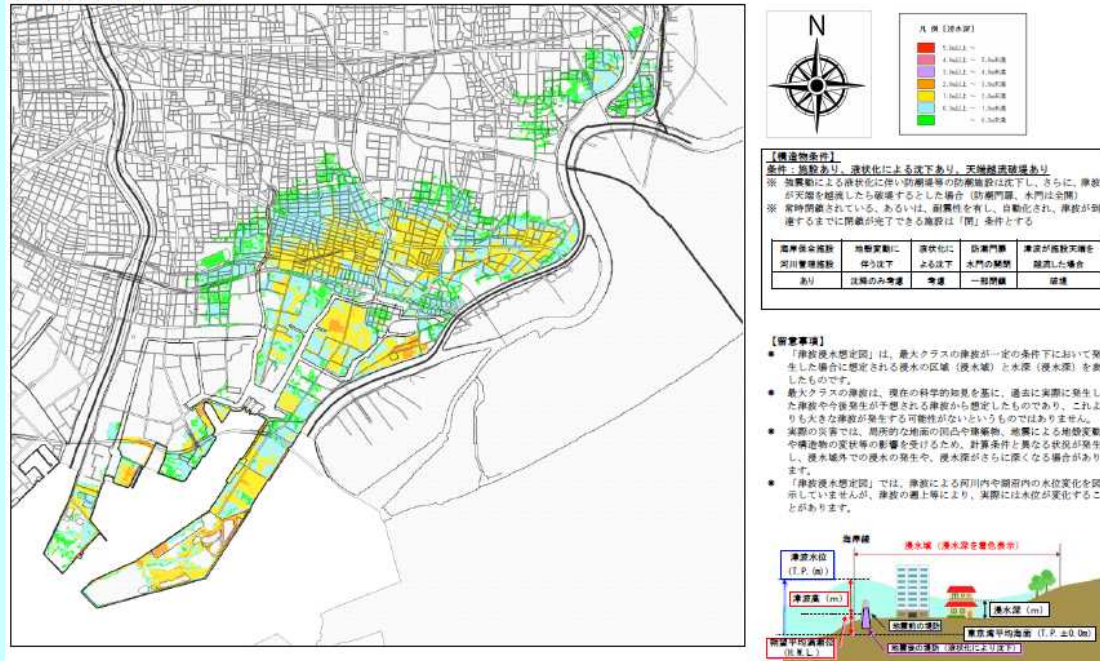
地震・津波対策

【観点】津波対策事業の実施状況

「指標」津波ハザードマップ作成支援内容・作成市町村数

平成25年12月に兵庫県から最大クラスの津波を想定したシミュレーション結果が公表された。

【兵庫県津波浸水想定図：尼崎市】



兵庫県 南海トラフ巨大地震津波浸水想定図  
<http://web.pref.hyogo.lg.jp/kk38/nannkaitorahukyodaizisinntunamisinsuisouteizu.html>

進捗状況

（平成25年度の取組）

平成23年3月11日に発生した東日本大震災による甚大な被害を受け、最大クラスの津波を対象とした津波浸水想定を平成25年8月に大阪府が公表した。

また、兵庫県についても平成25年12月に公表した。

点検結果

最大クラスの津波を対象としたハザードマップ作成等、自治体に協力していく。